

特集

感染対策について ～新型コロナウイルスへの対応～



目次

特集

- P2 ～ P3 新型コロナウイルス ～当院の対策～
- P4 ～ P5 新医師臨床研修制度 ～地域医療研修を終えて～
- P5 芸術の秋 ～老健文化祭～
- P6 病院からのお知らせ

『新型コロナウイルス～当院の対策～』

院長 露久保 辰夫



2019年12月末に中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界中に感染拡大したことは皆さんご存じのとおりです。2020年1月から2月にかけての中国での流行を経て、ヨーロッパ・アメリカ・南米へ感染拡大し現在もおさまる気配がありません。

日本では2020年1月15日に国内最初の症例が確認されて以来、現在（10月15日）までに約90,000人の感染者が報告されています。3月から4月にかけての国内第一波の流行は、国民の皆様の献身的な自粛生活によりいったんは収束しましたが、その後の緊急事態宣言の解除やGo toキャンペーンなどの取り組みにより現在は第二波と思われる流行が続いています。

幸いこの飯田地域では現在までに数人の感染者を認めたのみで目立った感染拡大には至っていません。それでも人々が県をまたいで大きく動き出したこれからは、いつ感染者が発生して感染拡大してもおかしくはありません。

そこで、当院では現在以下のような感染対策を行い新型コロナウイルスに備えています。



外 来 診 療



現在外来受診される患者様には、まず玄関で検温および問診、並びに手指消毒にご協力をいただいております。検温に関しては10月より顔認証温度計（写真1・2）による検温を導入いたしました。これに伴い検温にかかる時間を短縮することができ、病院玄関でなるべく患者様をお待たせしないような体制となりました。

検温の結果37.0℃よりも高い熱のある患者様については、問診のうえ病院前の道路を挟んで反対側にある旧院内保育所（写真3）に開設した発熱外来にて診察を行います。この発熱外来での診察を行うことにより、万が一新型コロナウイルスの患者様が受診されたとしても、一般の患者様と動線が交わらないように対応することが可能となります。

発熱外来での診察で新型コロナウイルス感染症が疑われた場合には、飯田市「地域外来・検査センター」に紹介のうえ新型コロナウイルスのPCR検査を行う体制になっています。PCR検査で新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、保健所の指示に従い感染症指定医療機関に入院することになります。



写真1 顔認証温度計



写真2 測定の様子



写真3 発熱外来

入院・入所

現在当院では新型コロナウイルス感染症の患者様の入院治療は行っておりません。しかし、この飯田下伊那地域に新型コロナウイルスの感染拡大が訪れば、いつどこから病院内に感染が侵入してもおかしくはありません。

そのため、4月の国内第一波の感染拡大時から当院では面会禁止の措置をとらせていただき、入院患者様・入所者様のご家族様と面会できないという非常に不便な状況にご協力いただいております。これまで当院では面会対策として「ガラス越しの面会」などの対策を行ってまいりましたが、10月よりタブレット端末を使用したWEB面会（写真4）を開始いたしました。入院が長くなる療養病棟の患者様や、介護施設の入所者様との面会には是非利用していただければと思います。タブレットの操作方法など職員がご説明いたしますので、お気軽にご予約ください。

病室・居室と当院の
駐車場を繋いでいます。



写真4 WEB面会の様子

ご予約はお電話で承っております。
専用のタブレットを貸し出しますので、
来院していただく必要があります。

職員の対策

さて、以上のように受診する患者様や面会に対する感染対策をどんなに強化しても、病院に勤務する職員が新型コロナウイルスを院内に持ち込んでしまっただけでは何にもなりません。過去医療機関でのクラスター発生に職員が関与した事例はいくつか指摘されています。

当院では職員の出勤時の体温測定と体調管理を毎日行い、発熱があったり、咳や咽頭痛などの症状がみられた場合には出勤停止の対策をとっています。また、感染拡大地域を訪れた職員には最大2週間の自宅待機を指示しています。

マスクの着用や手指衛生を徹底し、休憩時には3密（密集・密接・密閉）を避けて食事をするようにして、職場の環境清掃や定期的な換気などの感染対策を心がけています。

残念ながらいまだ新型コロナウイルス感染症は終息のめどはたっていません。今後有効なワクチンが開発され、多くの皆様がワクチン接種できれば状況も良い方向に向かうのかも知れませんが、依然未知数です。当院としましては、地域の皆様が安心して受診していただけるよう最新の知見をいかし、できうる対策に全職員一丸となって取り組んでまいります。

3つの「密」を避けましょう



新医師臨床研修制度 ～地域医療研修を終えて～

当院では新医師臨床研修制度の滑り出しから地域医療の研修を積極的に受け入れてきました。今回は7月と9月に研修を終えた先生 の感想をご紹介します。



新医師臨床研修制度とは、より良い医師の育成と、研修医の勤務環境の整備などを主目的として発足した制度です。努力規定であった制度が必修化となり、地域医療に関わることがプログラムの中に組み込まれました。

飯田市立病院 研修医 姫野 正敬



こんにちは、飯田市立病院初期研修医の姫野正敬と申します。地域医療研修として輝山会記念病院にて一週間研修をさせていただきました。県外出身者ですが、信州大学を卒業後、飯田市立病院に初期研修医として就職し、急性期を主に研修を積んでまいりました。

学生時代と約一年間の初期研修を通じて地域医療に関しては無知な私でしたが、貴院での地域医療研修を通して地域医療における役割やシステムに関して学ぶことができました。

貴院での研修で、まず印象に残ったのがリハビリテーションの規模と熱意でした。専門医の指導と充実した施設環境の下、質の高いリハビリを学び、それを患者様一人一人に対して丁寧に行う様子に深く感銘を覚えました。

さらに輝山会記念病院の関連施設として各地域の診療所、介護老人保健施設「万年青苑」、特別養護老人ホーム「きりしま邸苑」などで地域包括ケアシステムが実現されており、地域医療を学ぶにあたり理想的な環境でした。

医療に携わる者としてまだまだ未熟者な私ですが、貴院での研修を経て、急性期だけでなく回復期を含め患者様のその後を見据えて医療を行えるよう、今後の医者人生を通して学んでいきたいと思えます。

本当に短い期間でしたが、土屋理事長、清水先生はじめ、多くのスタッフの方々に感謝いたします。



訪問診療同行の様子

飯田市立病院 研修医 井上 慶太



はじめまして。井上慶太と申します。私は現在、飯田市立病院にて2年間の初期研修を行っております。この度は、地域医療研修として、輝山会病院にて1週間お世話になりました。

普段とは違う職場は、普段とは違う気づきを与えてくれます。今回の研修では、患者さんの具体的な生活環境内での診察を通して、病院に来られる方々がどのような問題に困って受診しているのかが直接拝見できました。患者さんは様々な理由で病院にかかり、時には最も困っている訴え「主訴」をうまく汲み取れないこともありました。これからの診療では、生活を想像することでわかる情報もあるのではと感じております。

病院施設に関して、学生期間から現在まで様々な病院で学んでまいりましたが、リハビリ施設として一番だと感じたことが率直な感想です。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士をはじめ多くのスタッフが、目の前に存在している課題に対して当事者意識をもって働いていることが印象的でした。

現在の新型コロナウイルス感染予防に関して、病院単位で真摯に取り組んでいる姿も拝見しました。大変ご多忙中、先生方をはじめ、輝山会病院職員の方々に感謝申し上げます。普段の診療にも大きな影響を及ぼす状況ではありますが、貴院ははじめスタッフの方々のご健康ならびにご発展を心よりお祈り申し上げます。



訪問診療同行の様子



老健文化祭

ご利用者様の作品を一部ご紹介します！



病院からのお知らせ

インフルエンザ予防接種のご案内

令和2年10月1日（木）から令和3年1月15日（金）まで、インフルエンザ予防接種を実施しています。予防接種は **予約制** となりますので、受診の際またはお電話でのご予約をお願いいたします。

接種日時：月曜日～金曜日 15:20 ～ 15:50（30 分間）

※ 薬液が無くなり次第、
期間内であっても終了することがあります。



★ Dr. テレビ番組出演情報 ★

身近な病気などをわかりやすく解説するテレビ番組「奥様はホームドクター」
（テレビ信州 毎週月～金 午前 11:50 ～ 11:55 放送）に

当院院長 **露久保 辰夫 医師** が出演し、「冬に流行する感染症」について解説しました。
放送の内容は番組ホームページにて動画でご覧いただけます。

テレビ信州

検索



—— 病院駐車場をご利用の皆様へ ——

外来正面玄関前 障がい者用駐車場 への
一般車両の駐車は、ご遠慮願います。
ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

